

平成30年度麻布大学同窓会東北ブロック会議開催報告

去る平成30年11月23日(金)、麻布大学同窓会東北ブロック会議を岩手県盛岡市にて開催いたしましたのでご報告いたします。

冬の入りを感じさせる中、同窓会本部からは福山守会長、大学から来賓として浅利昌男学長にご臨席賜り、東北の各支部役員11名が出席し、開催となりました。

開会に先立ち浅利学長から、本学の政岡俊夫名誉学長がH30年秋の叙勲で「旭日中綬章」を受章されたこと、また本校は第三者機関の公益財団法人大学基準協会から厳しい基準に合格し認定されたことの報告を受けました。教育の質・実績などトップレベルであることを内外に示す事ができたとのお言葉を頂戴しました。

2017年に衆議院議員3選を果たし、環境大臣政務官・内閣府大臣政務官としてご活躍の福山会長におかれましては、同窓会における支部会の役割の重要性について熱く語られ、参集メンバーも心強く感じました。同時に、国政での更なる活躍を期待し、大いに盛り上がりました。

東北ブロックでは、新規の同窓会員数の減少と維持会員の支部活動への参加減が共通課題ですが、各支部の活性化を図る工夫などが紹介され、刺激をうけました。また、大学側と卒業生の情報をできるだけ共有し在学中から同窓会との繋がりを意識した取り組みを行うよう検討されました。

最後に、今年で任期満了となるブロック理事は岩手県から宮城県に担当が移ることを確認し、平成31年度の報告を本部へする事を確認しました。

今後も、東北各県支部の情報共有と今後の同窓会活動と本学との連携を深めるため、新会員の発掘や登録など、さらに取り組んで参りますので、引き続き同窓会本部及び大学からのご指導とご支援よろしくお願いたします。

文責：岩手県支部事務局 大野 千明

